

Doc. No.: NR080529

2008年5月29日

## 次世代の枚葉インクジェット印刷技術を開発 ～世界初のA2ワイド版インクジェット枚葉印刷機を発表～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー(社長：藤澤 恭平)は、世界で初めてインクジェット方式で一般の印刷用紙が利用できる枚葉印刷<sup>※1</sup>技術を開発。この技術を搭載した、フルカラーバリアブル枚葉プリンティングシステムのプロトタイプ装置「Truepress Jet SX(トゥループレス ジェット エスエックス)」を、このたび発表します。

近年の印刷業界における市場ニーズは、大量印刷から多品種・少量・短納期印刷への大きな変革を経て、今や顧客一人一人をターゲットとした付加価値の高い印刷への転換が加速しています。また、世界的な環境保護の取り組みの一環としても、必要なときに必要な部数だけを印刷するPOD(プリント・オン・デマンド)システムが注目されており、中でも、市場ニーズに柔軟に対応でき、次世代印刷の最有力技術として期待の大きいインクジェット印刷機の技術開発や製品化に、非常に高い関心が寄せられています。

当社は、このような業界の変革を背景に、長年培った印刷・製版技術と先進のインクジェット技術を融合し、2005年にロール紙に印刷するインクジェット輪転印刷機を開発。ダイレクトメールや請求明細書、フリーペーパーなどの印刷に高い付加価値を生み出すPODシステムを提案し、伝票・帳票印刷市場などから高い評価と実績を獲得しています。

今回発表した「Truepress Jet SX」は、既の実績のあるインクジェット輪転印刷機に加え、一般商業印刷市場における枚葉印刷へのニーズに応えるべく開発したもので、高品質と高生産性を高い次元で両立する新開発の高精細ワンパス<sup>※2</sup>ヘッドを採用。従来のオフセット印刷と同等の印刷品質を実現しました。さらに、世界で初めて、インクジェット専用紙だけでなく、一般の印刷用紙や厚紙などへのインクジェット枚葉印刷を可能にしたほか、A2ワイドサイズをカバーする最大530×740ミリメートルの用紙を使用できるなど、世界中で最も普及している印刷機のサイズに対応<sup>せんしよく</sup>します。また、「Truepress Jet SX」は、印刷物に後から追加して印刷する場合もオフセットの品質と遜色なく刷れるため、従来の印刷工程にPOD技術を取り入れた運用が可能。従来の一般商業印刷とPODシステムの融合による、印刷物の新たな付加価値を創出します。

当社は、今回開発した「Truepress Jet SX」を、1年後をめどに製品化するとともに、紙を媒体とするPODシステムの総合的なビジネススタイルを提案します。そして、POD製品のラインアップのさらなる充実を図り、今後も業界の発展に貢献していきます。

\* 「Truepress Jet SX」のプロトタイプ装置は、5月29日から6月11日までドイツ・デュッセルドルフで開催される世界最大の国際総合印刷機材展「drupa 2008」に参考出展し、当社ブースの専用コーナーで実機によるデモンストレーションを行います。

※1 枚葉印刷

あらかじめ用途や印刷機に合わせて断裁された印刷用紙(枚葉紙)に、1枚ずつ印刷していく方式。

※2 ワンパス

固定されたインクジェットヘッドの下を、印刷対象となる用紙などを通すことにより、1度で画像を形成する方式。インクジェットヘッドを用紙の送り方向と垂直に双方向に走査させる方式に対して印刷速度を高速化できる。

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目



## Truepress Jet SX (プロトタイプ装置)

☆この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。  
([www.screen.co.jp/press/nr-photo/](http://www.screen.co.jp/press/nr-photo/))